

クラウドファンディング、無人駅活用プロジェクト

おびおり

帯織駅を燕三条地域の産業発信地と交流拠点に！

東日本旅客鉄道株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤祐二)と JR 東日本スタートアップ株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：柴田裕)は、「JR 東日本スタートアッププログラム 2018」で採択した株式会社^{キャンプファイヤー}CAMPFIRE(本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：家入一真)と、「地域にチカラを！プロジェクト」と題し、2019年9月30日(月)から11月29日(金)までの間、クラウドファンディング(資金調達)を実施しています。

新潟エリアでは、有限会社ストカ(本社：新潟県三条市、代表取締役：斉藤智幸)の提案による帯織駅でのプロジェクト「無人駅を活用して燕三条地域の産業発信地と交流拠点を作りたい」を開始しました。皆様の応援お待ちしております。

1. 新潟エリア、信越本線帯織駅(新潟県三条市)プロジェクト 計画概要

新潟エリアでは、有限会社ストカによる、信越本線帯織駅(新潟県三条市)のプロジェクト「無人駅を活用して燕三条地域の産業発信地と交流拠点にしたい」を実施いたします。

ものづくりの町として高い技術力を持った企業が集まる燕三条地域だからこそできる、無人駅をリノベーションした地域産業の発信拠点と、地元工場とつながりながら、「こんな作りたい！」のアイデアが実現できる、ものづくりの交流拠点「EKILAB(エキラボ)」を作ります。



EKILAB ロゴマーク



信越本線帯織駅 外観

- 施設オープン予定：2020年 夏頃
- 施設での体験内容(予定)
 - ・CADを使った図面制作・設計講習会の体験
 - ・3Dプリンターや、桌上レーザーを使った講習会
 - ・溶接機やボール盤を使用する組み立て・加工体験
 - ・拠点を軸とした燕三条地域の工場との連携製作
 - ・施設内のWi-fiやPCを定額で利用できる会員制度をご用意！

2. クラウドファンディング概要

▼CAMPFIRE クラウドファンディングページ 応援お願いいたします！

「無人駅を活用して燕三条地域の産業発信地と交流拠点にしたい」

<https://camp-fire.jp/projects/view/172423>

● クラウドファンディング リターン品（一例）：made in 燕三条 の自慢の商品をご用意

- ・包丁工房タダフサ・3本セット：売り切れ続出！普段中々手に入らない基本の包丁セットをこの機会に！
- ・近藤製作所製・移植ゴテ・耕耘フォーク 2set：農家近在の野鍛冶として始まり、やがて農具の要である鍬（くわ）専門の鍛冶屋として、代々技術を受け継いできた近藤製作所。使い込むほどに手に馴染む本物の道具をお試しください。
- ・マサコー山口木工製・オリジナルハンドアックス：燕三条の鍛冶職人が製作した本物の道具に握りやすさを追求した柄を取り入れた、まだ市場に出ていないハンドアックスです。
- ・オリジナルアクリルプレート製作&EKILABに掲示：企業協賛、一般協賛として自社のロゴや看板をアクリルで作成したプレートに印字し、EKILAB 内に掲示！皆様と一緒に作り上げる EKILAB だからこそ、皆様のお名前を掲示させていただきます。

※画像はすべてイメージです



包丁セット



移植ゴテ・耕耘フォーク



オリジナルハンドアックス



アクリルプレート

3. 「地域にチカラを！プロジェクト」について

「地域にチカラを！プロジェクト」は、地域の活性化を目的に、CAMPFIRE がクラウドファンディングのプロジェクト立ち上げをサポートし、JR 東日本はネットワークを生かした PR をサポートする、共同のプロジェクトです。

2018年12月から約1ヵ月間、「地域商品開発」と「無人駅の活用」の2つのテーマで、地域をより元気に、より魅力的にするアイデアの一般公募を行いました。今回は「無人駅の活用」部門への36件の応募の中から、JR 東日本と CAMPFIRE が選出した2件のプロジェクトを実施しております。

それぞれのプロジェクトにおいて、JR 東日本は地域の活性化の舞台として、地域の企業・団体に対して無人駅の駅舎の貸付けを行います。また、地域の企業・団体は、準備・運営に必要な資金の一部について、「CAMPFIRE」を利用してクラウドファンディングでの資金調達に取り組みます。

クラウドファンディングの募集期間は2019年9月30日（月）～11月29日（金）です。

▼地域にチカラを！プロジェクト 特設ページ

<https://camp-fire.jp/channels/jreast>